

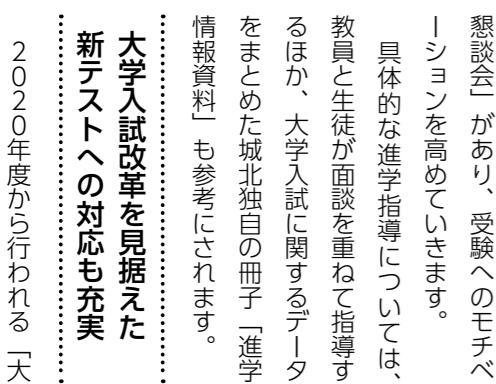


左から、国語科・高橋慶臣先生、  
進学指導部長・加門康徳先生、英語科・石黒賢亮先生

の講習が充実。定期テスト以外に年2～3回実施される「校内実力試験」も応用力育成に役立ちます。また、校内には自習スペースが多くあり、質問があれば教員にいつでも聞くことができます。

生徒の未来を照らす  
多彩な進学指導

進学指導に対する城北の取り組みを具体的に紹介しましょう。まずは、塾や予備校に頼らず受験に対応できるシステムがあげられます。長期休暇中の講習（中1～高3）や、2学期末から入試直前まで続く高3の特別講座、高3の夏に9泊10日の日程で自学自習を助ける「大刀洗研修」等、受講料

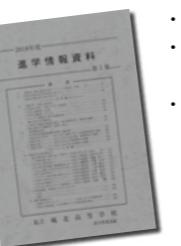


教員と生徒が面談を重ねて指導するほか、大学入試に関する「データをまとめた城北独自の冊子「進学情報資料」も参考にされます。

2020年度から行われる「大学入試改革を見据えた新テストへの対応も充実

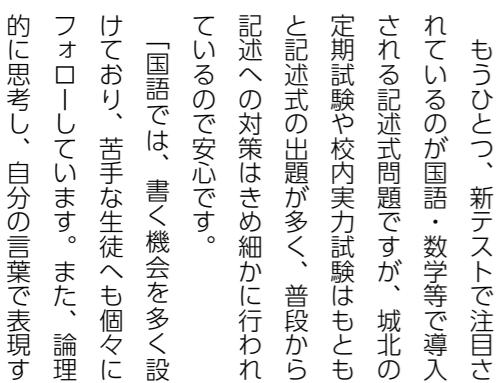
や卒業生が職業について語る「将来を考えるための講演会」や「職場体験」という体験学習等を通じて、自分の将来や職業について向きあう機会を設けます。高2・高3では、卒業生を招いて受験体験や大学、職業の内容を聞く「入試

# 城北独自の進学指導冊子 「進学情報資料」



- 大学入試の動向や結果分析  
卒業生の入試結果の集計  
データ  
入試を終えた受験生から在校生に向けたメッセージ等

ほかでは得られない入試情報の冊子が、年に2回、校生徒に配付されます。



定期試験や校内実力試験はもともと記述式の出題が多く、普段から記述への対策はきめ細かに行われているので安心です。

「国語では、書く機会を多く設けており、苦手な生徒へも個々にフォローしています。また、論理的に思考し、自分の言葉で表現す

「ので、生徒はどんどん前向きに、積極的に話せるようになります。今後は高2でもネイティブと会話をする機会を新たに設ける予定です。こうした場を活用し、スピーキングの力を育みます」（英語科・石黒賢亮先生）

学入学共通テスト」（以下、新テスト）対策も万全です。英語では「読む・聞く・話す・書く」4技能の育成を目標し、高校のカリキュラムを変更。英語の授業を増やしました。

また、高1ではスピーチング対策として、外国人と英会話をするオンライン英会話を新たに導入しました。

「オンライン英会話は週1回実施しています。一対一で会話する



- ◆住所 東京都板橋区東新町2-28-1
- ◆アクセス 東武東上線「上板橋駅」徒歩10分  
樂町線・副都心線「小竹向原駅」
- ◆TEL 03-3956-3157 (代)
- ◆URL <https://www.johoku.ac.jp/>

る力を育むために、文章を要約し、それを自分で添削させる要約課題を中1から実施しています」（国語科・高橋慶田先生）

このように、城北では大学入試の動きにも対応した教育がなされています」とが分かります。

「教員と生徒、そして生徒同士の絆も深く、みんなで一緒にがんばりながら目標に進んでいける強さとあたたかな雰囲気がある学校です」と加門先生が語るようになります。

一心同体となつて大学入試に取り組むのが城北の進学指導と言えます。

親身な進学指導のもと、それぞれの夢に挑戦するための力をしっかりと育む城北中学校・高等学校です。



## 明日に伸びる！この1校

# 城北中学校・高等学校

# 学校と生徒は一心同体！ 一人ひとりに寄り添う進学指導

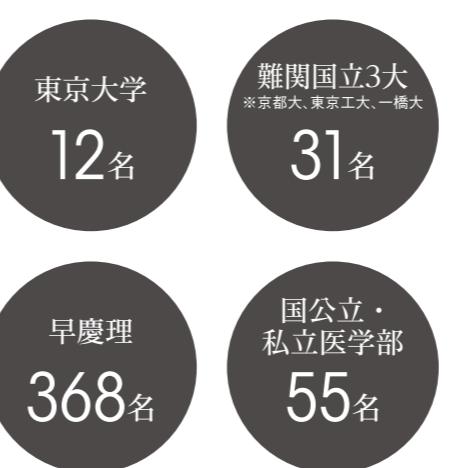
東京  
男子校

城北中学校・高等学校は1941年（昭和16年）創立の伝統ある男子中高一貫校です。毎年好調な大学入試結果でも存在感をみせていますが、その秘訣はどこにあるのでしょうか。進学指導部の取り組みについてお聞きしました。

城北中学校・高等学校（以下、城北）は、毎年、東京大をはじめとする国公立大や早慶上理・MARCH等の難関私立大へ多数合格者を出す進学校として注目を集めています。こうした実績を生む城北の進学指導の特徴を進学指導部

2018年度大学入試結果

関国公立大や難関私立大へ毎年多くの実績を  
っています。医学部の合格者数も目立ちます。



長の加門康徳先生にお聞きする  
と、一番のポイントは「生徒一人  
ひとりに徹底的に寄り添う手厚い  
フォロー」にあるそうです。

「きめ細かい指導で生徒をサポ  
ートする教育が本校の特色で、進  
学指導にもそれが活きていると感  
じます。教員は授業以外でも面談  
や補習・講習等、様々な場で生徒  
を見守り、親身に対応しています。  
もちろん、進学に向けた取り組み  
は教科指導からキャリア教育まで  
いろいろなシステムを用意してい  
ますが、生徒との信頼関係を根幹  
とした親身な対応があるからこそ、  
結果に結びついているのだと思いま  
す」(加門先生)